

学校教育目標	「自ら輝き 共に輝く 駒っ子 ～やさしく 正しく 高め合って 生きる～」 ○基礎・基本を身に付け、自分から学び、向上していくことのできる子を育てます。(知) ○友達に優しくでき、きまりを守って正しく行動できる子を育てます。(徳) ○心と体が健康でたくましい子を育てます。(体) ○友達や地域の人たちなどと共に、学び合い、高め合って生きていくことができる子を育てます。(公) ○様々な社会の変化に対応できる力を身に付けた子を育てます。(開)					
	学校概要	創立 52 周年	学校長 次田 るみ子	副校長 都甲 理文	2 学期制	一般学級: 22 個別支援学級: 7
児童生徒数: 688 人		主な関係校: 末吉中学校・寺尾中学校・上末吉小学校・末吉小学校・下末吉小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	末吉中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける育成を目指す資質・能力を踏まえた「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <言語能力>	末吉中学校 駒岡小学校 末吉小学校 上末吉小学校 下末吉小学校	学校・家庭・地域の中で育つ、夢と希望に向かって努力できる子ども 児童、生徒指導の情報の共有化のための、定期的な情報交換「末吉中学校区スタンダード」の運用・検討 児童・生徒及び教職員の交流活動並びに地域との交流の活性化 義務教育9年間の学びの連続性を軸とした授業参観・授業公開

中期取組目標	<p>○駒岡のまちを愛する心を育て、自己有用感を高めるために、駒岡の「人」とのつながりを重視した豊かな活動を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年間を通して、地域の「人・もの・こと」と関わる体験的な学びを、全学年で実践します。</li> <li>○子ども一人ひとりの思いを大切にしながら、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善に取り組みます。</li> <li>・1年目は、創立50周年を学習に生かし、特に学習の楽しさを実感できる授業づくりを推進します。</li> <li>・2年目は、子ども自らが問いを見いだして学ぶ、課題解決的な学習を展開します。</li> <li>・3年目は、子どもが自分の問いやめあてに応じて学びのプロセスを工夫できるような学習をデザインします。</li> </ul>
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	授業改善	①引き続きカリ・マネ要領を活用しながら日々の授業改善に取り組む。学力・学習状況調査の結果を活用し、児童に身に付けたい資質・能力を明確にして、授業づくりを行う。令和5年度に提示した「6年間を通して教科等横断的に育成を目指す資質・能力」を授業に位置付けていく。駒岡小学校の学習の基礎・基本の内容(学習指導要領・資質・能力より)を各教科部会から提示し、ロイノート・スクールに追加し、共通理解できるようにする。②全職員が共通認識をもって研究に取り組むことができるようにするために、4月に研修を行う。授業づくりや1時間の授業の流れ等、授業研究会を通して研修・研究し、重点研究のテーマ「一人ひとりが輝く姿を求めて～子どもが自分の思いや考えをもち、伝え合い・認め合い・高め合う姿」の実現に向けて、学校全体で相手や目的を意識して言葉を選択しながら人と豊かに関わる力の育成に取り組む。
担当	評価・評定・学力向上	
徳	道徳教育	①豊かな心の育成を目指して、道徳科の指導計画及び別業の作成に伴う研修を行う。②道徳の年間計画に沿った、全学級の道徳の授業公開を年1回実施する。③児童による人権目標をもとに、各クラスで人権のめあてを決め、だれもが安心して生活できる学校・学級づくりを目指す。④自分を見つめ、認められる機会をつくり、自己肯定感・自己有用感を高められるようにする。
担当	道德部	
体	健康教育	①家庭と連携して、健康に留意し、規則正しい生活を送ろうとする姿勢を培うとともに、食育や保健教育を実施する。②児童一人ひとりが「分かる・できる」体育科授業の実践に向け、研修を行う。③多様な運動に取り組めるように、運動の仕方を紹介したり、集会を行ったりして運動の楽しさを実感できるようにする。
担当	体育部	
公開	自分づくり教育(キャリア教育)	①他者との関わりの中で自分の思いを表現しながら、地域で体験的に学ぶ機会を全学年で設ける。②自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、子ども自身の姿や成長を自己評価できるように、区切りに応じて「自分づくりパスポート」を活用する。
担当	自分づくり教育推進委員会	
いじめへの対応		①いじめの早期発見や早期対応ができるように、いじめアンケートや教育相談を実施する。②未然防止、早期発見、早期対応、再発防止を目指す一連の組織ができるように、密に情報共有を行ったり、研修を行ったりする。また、組織で保護者からの相談に対応する。③相手の立場になって物事を考えたり、思いや考え、価値観等をしっかりと表現したりすることができるように、授業改善や児童指導に努める。
担当	児童指導	
人材育成・組織運営(働き方)		①メンターチームは、10年前後のメンターを加えて、学習、児童指導に関する資質を高め、月に一度の研修を設定する。②ミラidemで発信したものは打ち合わせ等で繰り返さず、効率化を図っていく。研修、会議のスリム化・ペーパーレス化を推進し、打ち合わせは簡潔に終えるように取り組む。③毎週の主幹・専任会と打合せ。毎月の学年主任会を通して、学校運営に関して共通理解を図り、チームで取り組めるようにする。なお、職員会議の事前検討は、主幹・専任会で進行。
担当	教務部	
児童指導		①駒岡スタンダードをよりどころとした指導と振り返りを行う。②児童の問題行動を未然に防ぐことができるように、児童支援と積極的な声かけを行う。さらに、学年やブロック、全校で情報の共有を図る。③不登校児童の気持ちに寄り添う。必要に応じて駒小どこでもスタディを活用する。また、保護者や関係機関と連携した支援を行う。
担当	児童指導・特別支援	
地域学校協働活動		①まちたんけん、昔遊び等、学校運営や子どもの学習に関して、地域とのつながりを全学年でもてるようにしていく。②学校と地域・PTAの連携を大切にしながら子どもを育てていけるように、学校運営協議会、PTA役員会の中で、学校の状況を発信する。③地域学校コーディネーターを生かし、地域の人材バンクとして「駒っ子サポーター」を活用した教育活動を行う。
担当	教務部	
安全管理		①火災や地震、風水害などの自然災害や不審者の侵入を想定し、児童が迅速かつ安全に避難できるように、年間を通して避難訓練を行う。②児童が安全に登下校できるように、登校班による登校や職員による下校指導をする。また、通学路の危険箇所などを共有・理解するために、登校班指導・集団下校訓練を実施する。③犯罪やインターネットに潜む危険から身を守ることができるように、外部と協力したサイバー教室や防犯教室を年一回実施する。
担当	防災・安全	